

## 精神疾患を有する特定妊婦への支援における MSW の連携プロセス

社会福祉学科 臨床福祉系 橋本百香

近年、児童虐待相談対応件数の増加や虐待死事例の顕在化に伴い、虐待予防の観点から特定妊婦への包括的な支援が注目されている。このことから本研究では、特定妊婦への支援において欠かせない連携に焦点を当て、妊娠期から医療機関で特定妊婦への支援に関わる医療ソーシャルワーカー（以下、MSW）がどのように他職種や他機関と連携し、支援を展開しているのかを分析し、実態を明らかにすることを目的とし、インタビュー調査を行った。

インタビュー調査の結果、連携プロセスを4段階に分類することができた。ただし、各段階は一方向的ではなく行き来するものであり、各支援者の方向性を少しずつすり合わせるという連携プロセスを辿っていることが分かった。MSWは連携プロセスの中で、クライアントと関係を構築しつつ、院内外の支援者との情報共有と意見のすり合わせを行い、複数の支援者間、およびクライアント - 支援者間の関係を調整する役割を担っていた。